

■ 電話の取次ぎに関する不具合を解消

Asterisk+FUSION IP-Phone により特別な機器なしで快適なメッセージングシステムを構築！



株式会社シーボーン

本社所在地：東京都中央区京橋 2-1-1 第二荒川ビル 3F
 代 表：代表取締役 安藤 泰
 設 立：2003 年 3 月
 資 本 金：1000 万円
 事 業 内 容：インターネット関連システム開発
 インターネット技術サービス提供
 ホームページ：<http://www.c-borne.co.jp/>

今ある環境から次のステップに進むための“力”を提供し続ける組織

株式会社シーボーン様は、インターネット関連のシステム開発や技術サービスの提供を行われている企業。スタッフの皆様一同、サービス業の原点に立ち返り、自社の持っている専門知識や経験、更に今まで築いてきた各専門分野の方々との連携を基盤に、お客様本来のお仕事が円滑になる様、陰になってお手伝いするという事を中軸に据え、首記のキャッチフレーズを企業ポリシーとされている。同社は、お客様が今以上に快適な環境を手に入れ、快適に業務を行える様に、必要な知識と知恵をご提供し続けているプロフェッショナルな集団である。

課題

メッセージング方法をより快適なものにする仕組みの検討

これまででは事務所の電話回線の利用頻度が少なかったこともあり、家庭用の電話機と子機を、拡張して使用していました。また、普段の連絡は携帯電話宛てにかけることが多く、事務所の電話への依存度が少ないこともあり、数年間はこの状態で問題なく業務がまわっていました。

ところが、ある年の夏期休暇中、事務所の留守番電話に今までお付き合いのなかったお客様からの新規案件のメッセージがありましたが、家庭用留守番電話のためメッセージに気づくのが遅れ、せっかくお問い合わせいただいたお客様のご要望にお応えすることができませんでした。確実にお客様からの入電を受けられるよう、また、もし電話に出られなくても確実にお客様に連絡できるようにするために、音声だけではなく、メッセージングの方法をより快適なものにする仕組みの検討を始めました。

そこで、同社の取扱サービスとして 2004 年からシステム開発・サービス構築を行っていたAsteriskを利用することが良いと考え、採用いたしました。

アプリケーション連携や、システムの柔軟性が非常に優れていると言った可能性は十分に理解していたが、実際に社内の電話を置き換えるには、一般電話回線 (OAB-J) との接続のために高価なメディアスイッチが必要だったため、IP でなんとか実現できないかと模索していたときにインターネットで Asterisk+FUSION IP-Phone のベータテストを知り応募しました。



株式会社シーボーン様が入られている
オフィスビルの外観

